

令和2年12月22日

各位

東京ビーフ生産流通協議会 事務局
全国農業協同組合連合会 東京都本部
(JA全農東京)

東京ビーフ生産流通協議会の設立について

東京都のブランド牛「東京ビーフ」の生産基盤強化、ブランド力強化を目指す「東京ビーフ生産流通協議会」(会長・奥山博之 JA全農東京 本部長)が2020年11月29日に新たに設立しました。

近年、東京都の肉用牛を取り巻く環境は、生産者の高齢化や担い手不足による飼養戸数の減少、さらにはTPPによる競争の激化や、新型コロナウイルスによる外食産業の停滞、インバウンド需要の減少などにより、生産現場はより厳しい状況となっております。

このような厳しい状況の中、本協議会を中心に、生産者や流通団体等の関係者が一丸となり、生産基盤の強化、そして東京都産黒毛和牛「東京ビーフ」の販売強化に向けて、取り組んでまいります。

【東京ビーフとは】

東京ビーフは、東京の秘境、青ヶ島などで生まれた牛※1を、八王子市などで肥育し、関係団体が構成される「東京ビーフ生産流通協議会」が指定した東京そだちの東京都産黒毛和牛を「東京ビーフ」と称します。※2。

これまで、出荷頭数が年間50頭前後※3で推移しており、他ブランド牛に比べると、圧倒的に頭数が少なく、「幻の黒毛和牛」と称されることもあります。

東京ビーフは、良質な飼料給与、生産者による丁寧な肥育管理により、肉質等級は96%が3等級以上※4と、生産されるほとんどが標準以上の良質な肉質となっております。

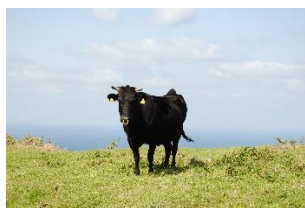
※1 一部他県で生まれた子牛を導入しているケースもございます。

※2 東京ビーフの定義については、東京ビーフ生産流通協議会の規約に基づく。

また、「東京ビーフ」はJA全農ミートフーズ(株)の登録商標です。

※3 2019年の出荷頭数は46頭です。

※4 2019年実績



(左から、繁殖生産地 東京都青ヶ島、青ヶ島で育つ東京ビーフ素牛、肥育生産地 東京都八王子市、東京ビーフ流通ロゴマーク)

【東京ビーフ生産流通協議会概要】

名称	東京ビーフ生産流通協議会
所在地	東京都立川市柴崎町３－５－２４　ＪＡ東京第２ビル 全国農業協同組合連合会東京都本部内
設立日	令和２年１１月２９日
目的	この会は、東京都肉用牛の生産・流通段階における会員相互の連絡、協調を促進し、東京都肉用牛の高付加価値化ならびに生産・販売の拡大、さらには生産・肥育農家の生産基盤の安定を目指し、東京都畜産業の振興に寄与することを目的とする。
事業内容	１．東京都肉用牛生産基盤に対する積極的な支援・取組み ２．「東京ビーフ」の消費宣伝及び販路拡大 ３．その他この会の目的を達成するために必要な事業
構成員 (令和２年１１月 ２９日時点)	・全国農業協同組合連合会　東京都本部 ・東京都農業協同組合中央会 ・ＪＡ全農ミートフーズ株式会社 ・ＪＡ東日本くみあい飼料株式会社 ・東京都内肉用牛（繁殖・肥育）生産者　複数名　※個人名でのご加入
東京ビーフ定義	(１) 黒毛和種の子牛または、未経産牛であり血統が明確であるもの。 (２) 東京都内で肥育され、最長飼養地が東京都内であるもの。 (３) 家畜個体識別システムにより、生産から出荷までの履歴が確認できるもの。 (４) 当協議会が認める屠畜場で屠畜されたもの。 (５) 上記（１）～（４）を満たし、当協議会が認定したもの。

新規取扱い、ご取材に関するお問合せは、メールまたは電話にてお問合せください。

東京ビーフ生産流通協議会　事務局

ＪＡ全農東京　生産事業部　営農販売課　西村　北見まで

ＴＥＬ：０４２－５２８－１３４９

Ｅｍａｉｌ：zz_tk_eihan@zennoh.or.jp